

石川建協

群馬県建設業協会の青柳剛会長は14日、篠原宗應副会長とともに、能登半島地震で応急復旧に努めている石川県建設業協会（平櫻保会長）と富山県建設業協会（竹内茂会長）をそれぞれ訪れ、両会長に群

石川、富山建協 に見舞金贈呈

群馬建協



富山建協

馬建協全会員企業267社から集めた見舞金を贈った。平櫻会長と竹内会長は、温かい支援に謝意を表すとともに、北陸地方整備局、県、市町村との協定などに基づき、「地域の安全・安心の守り手」として引き続き、復旧活動に取り組みと述べた。青柳会長は、両協会会員企業に改めて敬意を表し、健康に留意した復旧作業をお願いした。

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は、能登半島地震の被災地で応急復旧活動を続けている石川県建設業協会（平櫻保会長）と富山県建設業協会（竹内茂会長）に会員267社からのお見舞い金を送った。群馬建協の青柳会長、篠原宗應副会長が14日に石川、富山の両協会を訪れ、平櫻会長、竹内会長に目録を手渡すこと

能登半島地震

石川、富山建協に お見舞い金

群馬建協



左から平櫻会長、青柳会長、篠原副会長



竹内会長（いずれも群馬建協提供）

もに、意見交換した。平櫻会長、竹内会長とも、資機材や食料などを積み込む「自己完結型」の復旧の取り組みを説明し、「地域の安全・安心の守り手」としての活動を巡る決意を示したという。

群建協

全会員から見舞金

石川と富山へ手渡す

能登半島地震



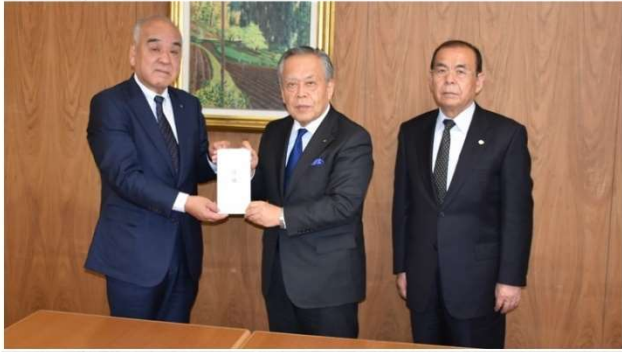
青柳会長の「地域の安全・安心の守り手」として、引き続き復旧活動に取り組みたいとした。

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は14日、1月1日に発生した能登半島地震で、心急復旧に務めている石川県建設業協会（平柳保会長）および富山県建設業協会（竹内茂会長）をそれぞれ訪れ、群建協会員企業全社となる267社から集めた見舞金を手渡した。当日は

【群馬建設新聞 令和6年2月17日】



青柳会長から平柳会長(写真上)と竹内会長(写真下)へそれぞれ目録が贈呈された



青柳会長の「復興まで時間がかかりそうだが、会員企業の皆さまには健康に留意し活躍されたい」と気持ちの言葉をかけた。また、「群馬県建設業協会の会員企業も直接お手伝いしたいところであるが、地理的な事情もあって叶わない」とし、全会員企業から集めた見舞金を手渡した。

対応した平柳会長と竹内会長は、温かい支援に謝意を表すとともに

【上毛新聞 令和6年2月23日】

石川、富山の協会に見舞金

県建設業協会



平柳会長(左)に見舞金を手渡す青柳会長(中央)



竹内会長(左)に見舞金を手渡す青柳会長(中央)

県建設業協会（青柳剛会長）は、能登半島

復興を願っている。健康

予定。（佐藤秀樹）

地震の復旧作業に尽力する石川、富山両県建設業協会に、会員企業267社から募った見舞金を贈った。両協会は食料や燃料、トイレなどを持参しチームで復旧作業に当たっている。金沢市と富山市を訪れた青柳会長は「二日も早い復興を願っている。健康予定。（佐藤秀樹）」と激励し、目録を手渡した。石川の平柳保会長と富山の竹内茂会長は温かい支援に感謝し、「地域の安全・安心の守り手として引き続き復旧活動に取り組み」述べた。今後、新潟県建設業協会にも見舞金を贈る